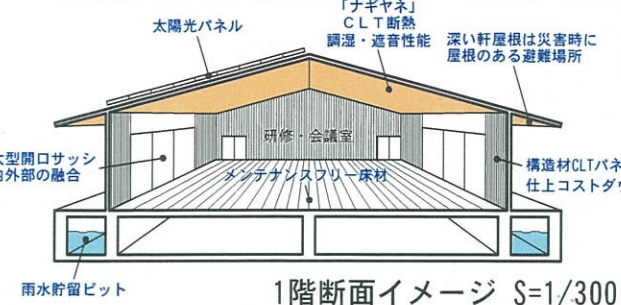
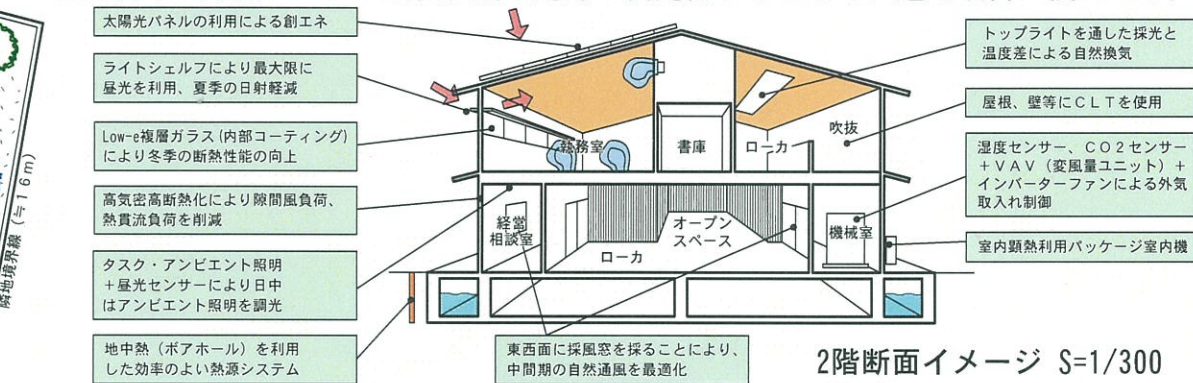
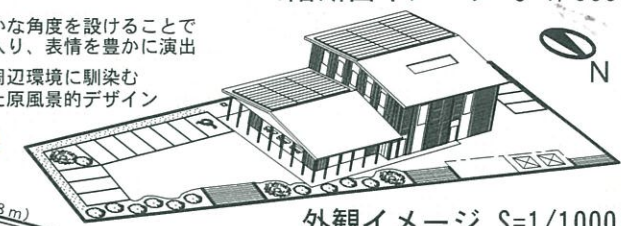
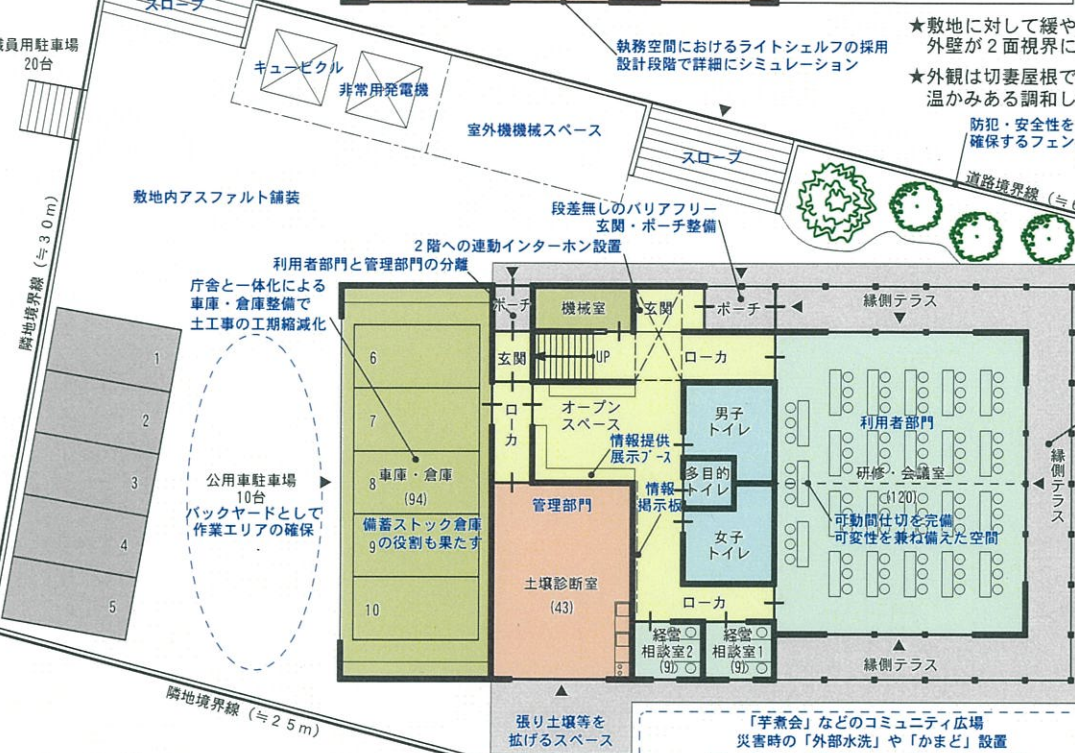


『農業の風景である稲木(いなぎ)をイメージした懐かしくも新しい・温かみある木造庁舎・ZEBの発信地須賀川農業普及所』



環境モデル施設としてZEB化の庁舎

- テーマ(4) 省エネルギー化、再生可能エネルギー活用による環境への配慮について
- ① 建築計画はシンプルな成形的なスパンならび、上下階の耐震壁レイアウトを画一化し自然通風を最大限活かす窓配置(東西面に採風窓を取り、西から東に流れる風の通り道による快適な執務空間)を行うことで快適性・省エネ性を考慮します。
 - ② 外皮負荷の低減において窓面は、Low-E複層ガラスを採用。また、水平軒庇により夏季の日射を遮蔽するなど、外皮負荷の低減を図ります。
 - ③ 自然採光利用屋根にトッライトを設置し、自然光を室内に導くとともに、温度差による自然換気を実施します。また自然光を間接的に室内に導くライトシェルフを採用し、執務空間における設計段階で詳細にシミュレーションします。
 - ④ LED照明、照明制御を行いランニングコスト削減を図ります。昼光センサーによりアンビエント照明の調光を図ることで、照明エネルギーを削減します。
 - ⑤ 屋根には、屋根勾配と太陽光発電パネルの効率の関係を細かくシミュレーションされた太陽光発電パネルを設置することで創エネを実現します。
 - ⑥ 外気処理空調機は、全熱交換器を組み込み、外気と室内排出空気との熱交換により省エネ化・空調設備の効率化を図ります。
 - ⑦ 地中熱利用の熱源機器は、地中熱(ボアホール)を利用した地中熱水冷ヒートポンプチャラー及び地中熱水冷パッケージユニットを採用し、地産地消システムとする。
 - ⑧ BEMSの採用し、空調機器運転の最適化機能、設備運転状況の監視機能、電力量、温湿度等の計測データや運転状況を記録・視覚化することで、運用改善に役立てる。



地域へ開かれ馴染み・防災拠点の庁舎

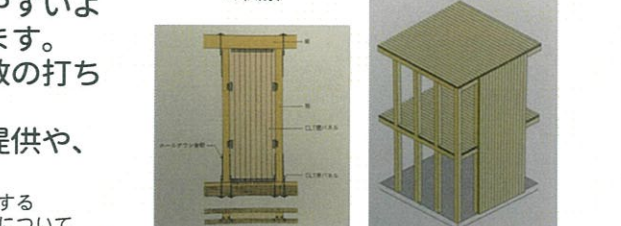
- テーマ(1) 周辺地域と共生について
- ① 緑側テラスをつくります。テラスは人の流れや周囲の自然と融合しながら建物へつながり、イベントとして「芋煮会」や「展示会」・「食材マルシェ」日常使いの場所が住宅団地の住民も気軽に訪問・交流するコミュニティを創出する場となります。
 - ② 外観は切妻屋根で周辺環境に馴染む温かみある調和した原風景のデザインとします。
 - ③ 緑側テラス及び、深い軒屋根は災害時に屋根のある避難場所としても期待できます。
 - ④ 庁舎と一体化した車庫・倉庫内は、備蓄ストック倉庫の役割も期待できます。

来庁者と職員とが有機的連携する庁舎

- テーマ(2) 次世代の農業普及所としての施設機能の実効性確保について
- ① 来庁者が、スムーズな農業技術・経営改善に関する指導・相談がサポートしやすいように、経営相談室や会議・研修室を1階に近接配置することで実効性を高めます。
 - ② 会議・研修室は可動間仕切を完備することで、状況に応じた全体利用や少人数の打ち合わせにも対応できる可変性を兼ね備えた空間構成とします。
 - ③ 内部空間には、県政・農政情報の閲覧、地域住民向け家庭菜園に関する情報提供や、井戸端会議の立ち話ができるようなオープンスペースを設置します。

地域風景と地場産CLTでつくる庁舎

- テーマ(3) 脱炭素社会の実現に資する木造化・木質化の実現について
- ① CLT(木質パネル)製造工場を有する福島県の強みを生かし、地場産CLTを使用した先進的な工法を採用します。「ナギヤネ」を農業の風景である稲木(いなぎ)をイメージした懐かしくも新しい、温かみある木造庁舎を実現します。
 - ② CLT材料特性を理解し、躯体・断熱・防音・仕上工事を同時に行うことができるため、工事工程が短縮化され、建設コストの低減が見込まれます。
 - ③ 県産材CLT材や木部現し、魅力発信できるデザイン性・表情豊かな施設します。



- ★CLTの利点を生かす計画イメージ
- ・確実な品質コントロールが可能となる。
 - ・工場製作による現場労働力不足の解消・工期短縮。
 - ・高いコストパフォーマンスとなる。
 - ・(構造材・仕上材、断熱・調湿・遮音性能)
 - ・環境メッセージとなる。(LCCO2の削減)
 - ・木現しとすることによる心的影響となる。
 - ・地元企業との協働による技術研鑽となる。

工程計画とコスト削減の両立する庁舎

- テーマ(5) その他本施設の計画において特に重要と考える提案について
- ① 与条件整理・運営のあり方など関係者と共に考える基本設計を十分に確保します。
 - ② 初期は頻繁に実施し、現地会議+Zoomリモート会議で目標・方針を共有します。
 - ③ 測量情報・地質調査等の情報を共有し、模型/CGによる仕様検討を図ります。
 - ④ 木造庁舎におけるCLTやZEB見学会など技術発信としての取組みを図ります。
 - ⑤ 工事コスト削減を図るために、初期段階から概算見積を行い設計精度を高めます。
 - ⑥ 建設工事費削減を図るために計画手法を取組み提案します。
- ・既存地盤レベル構成・入口位置を変えない計画として造成工事を縮減します。
 - ・コンパクトな平面形状とすることで躯体・土工事の縮減を図ります。

